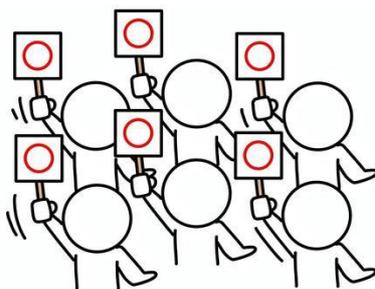


# 第1回（2024年度）

## 四日市NPOプレゼンテーション大会 & 政策・事業構築事業

### 実施要項

- 説明会 2024年5月10日 13:30~15:00 なやプラザ
- 応募期間 2024年5月10日~7月31日
- 書類審査 2024年8月 1日
- プレゼンテーション大会 2025年1月13日



主催 四日市 NPO 協会・四日市市議会議員有志

お問合せ先： 事務局 NPO法人市民社会研究所  
四日市市諏訪栄町3-4 ssk21ww@yahoo.co.jp 059-355-5115

## 1 目的

- (1) NPOが社会課題に市民が自発的・先進的に取り組む活動を通じて得られた問題意識を基に、魅力的な政策提言や事業案にまとめあげ、レベルの高いプレゼンテーションを行うことによって、NPOの存在感を高め、政策・事業の提案力量強化を図る。
- (2) NPO相互の交流とつながりをつくる機会とする。
- (3) 提案された事業や政策に対して、多様な関係者が参画して練り上げる機会をつくり、市民協働による政策形成や事業の実現を図る。

## 2 主催等

- (1) 主催 : 四日市NPO協会 四日市市議会議員有志
- (2) 協力 : 公益財団法人ささえあいのまち創造基金
- (3) 後援 : 四日市市 (株)シー・ティー・ワイ

## 3 事業内容

### (1) 全体の流れ

		2024年度										2025年度							
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
事項	準備	募集開始・説明会	応募への働きかけ		書類審査	② プレゼン訓練 ① 提案内容の改良 ブラッシュアップ				公開プレゼン審査	多様な主体による政策・事業構築 ① タイプ A 行政の政策化や事業化 B NPO等による事業化 ② A・Bへの参画 提案NPO、議員、市民、民間企業、行政など								次年度予算化

### (2) 応募対象者

四日市市内で活動する民間非営利組織（法人格の有無や種類を問わない）  
単独の団体でもグループでも可（グループの場合は営利事業者を含んでもよい）

### (3) 募集する政策または事業

- ① テーマ 自由
- ② 内容 各団体が取り組んでいる活動から得られた問題意識を基に、課題解決につながる魅力的な政策や事業に構築したもの  
例) 災害時の効果的な対応への新しい提案、障害者と企業をつなぐ新しいしくみ  
空家の活用についての新提案、多文化共生を進める新たな事業 など
- ③ 応募様式 別紙様式1～3
- ④ 提出先 四日市NPO協会事務局（NPO法人市民社会研究所）

(4) 募集期間 2024年5月10日(金)～7月31日(月)(消印有効)

(5) 説明会 2024年5月10日(金) 13:30～15:30 \*記者発表と同時開催

(6) 書類審査(8月1日)

①四日市NPO協会運営委員会(\*)・四日市市議会議員有志が選定

\*防災一座(災害対応)

NPO 法人体験ひろば☆こどもスペース四日市(子ども・子育て)

NPO 法人四日市Dサポート(認知症高齢者と家族支援)

NPO 法人下野・活き域ネット(地域コミュニティによる高齢者支援)

NPO 法人四日市男女共同参画研究所(男女共同参画)

一般社団法人ネクストステップ研究会(環境)

NPO 法人生活バス四日市(地域交通)

四日市障害者就労移行支援事業所ネットワーク(障害者・就労)

NPO 法人市民社会研究所(人権・若者就労支援・孤独/孤立対策・中間支援)

②選定基準

本事業の目的に合致していると判断されるもの(数は限定しない)

(7) 選定された提案のブラッシュアップ(9～12月)

① 四日市NPO協会による伴走支援(助言・他のNPO等の協力による内容の充実)

② 公開プレゼンテーションに向けた専門家によるプレゼントレーニング

(8) 公開プレゼン審査(1月13日)

① 参加者

【アドバイザー：提案内容についてアドバイスを提供】

議員：四日市市議会議員 加納康樹

行政：四日市市(協議中)

学識：四日市大学元学長 岩崎恭典(ささえあいのまち創造基金 代表理事)

企業関係：四日市市商工会議所(予定)

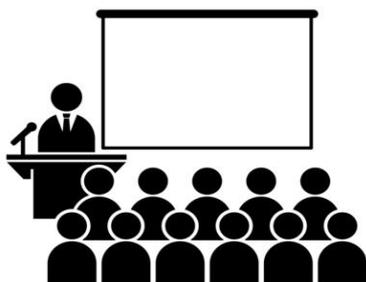
金融機関：三十三総研(予定)

労働組合：連合三重三泗地域協議会(予定)

市民活動：ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン 代表 藤井恵里

【一般参加者】

自由



## ② 審査方法

プレゼンテーション



プレゼンテーションに対するアドバイザーからの意見



全体の質疑応答



参加者全員の審査（全員が2種類の札を上げる）

提案内容自体の評価	提案に参加 (活動参加、寄付、場所や物資の提供など)
A：高く評価（実現を図る）	○ or ×
B：検討の余地あり	
C：いま一步	



審査結果に基づく対応

① Aが多数の提案の中から、実現可能性が高く社会的な意義が大きい提案をアドバイザーと主催者が選定

② ○の札を上げた人と提案者とのマッチング

\* 審査終了後、参加者と提案NPOとの交流会を行う

## ③ 会場

四日市商工会議所1Fホール

## (9) 政策・事業構築（原則翌年1月～9月）

公開審査で選定された提案に対して、多様な主体による協働の検討の場を設け、政策または事業の実現を図る。実現にさらに時間を要する場合は検討を継続する。

### ① 公開審査会で選定された提案のタイプ別対応

・タイプA（行政の事業化・政策化）

→ 必要なものについては、2026年度の予算化を図る。

予算化以外にも新たな政策化や、制度等の改変に向けたや国・県等への働きかけも行う。

・タイプB（民間での事業化）

→ 必要に応じて、寄付金募集や各種助成金の申請支援など、必要な支援を行う。

### ② 検討会参加者

選定された提案内容の関係者（関係NPO、行政、事業者、議員等）

## 4 今後の展開

2025年度以降は2024年度と同スケジュールで継続的に実施する。